



市報

みなみ魚沼

平成20年度

予算特集号

市民の皆さまへ

市民の皆さまには、日ごろ市政全般にわたりご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

平成20年度予算について、3月議会において議会の皆さまから可決いただきましたので、「平成20年度予算特集号」をお届けします。ご覧いただき、一層のご協力とご提言をお願いします。



南魚沼市が誕生して3年半余りが経過しようとしております。合併直前の大地震、四半世紀ぶりの豪雪に見舞われるという予期せぬこともありましたが、塩沢町との合併、広域水道企業団および広域連合の事務を引き継ぐなど、その規模を拡大しながら、新市の基礎固めに邁進してまいりました。ようやくそれができつつあり、平成20年度はその上に合併のかたちを表していく初年度であると考えています。合併後10年の平成27年度までは、新市の発展を築くための重要な時期で、ひざを屈しているだけでなく、伸び上がるための必要な施策に着実に取組んでいかなければなりません。

当市の財政状況は、実質公債費比率が「県下ワースト1」ということで、ご心配をおかけしておりますが、国で地方の要望に応え21年度までの3か年「公的資金補償金免除繰上償還」として、5%以上の借入れについて現在の低利の資金へ借り換え等を認めることもあり、市の借入金の残高も着実に減少しております。また、地方税の偏在是正対策として、新たに「地方再生対策費」が創設され、厳しい中にも一定の改善も図られました。

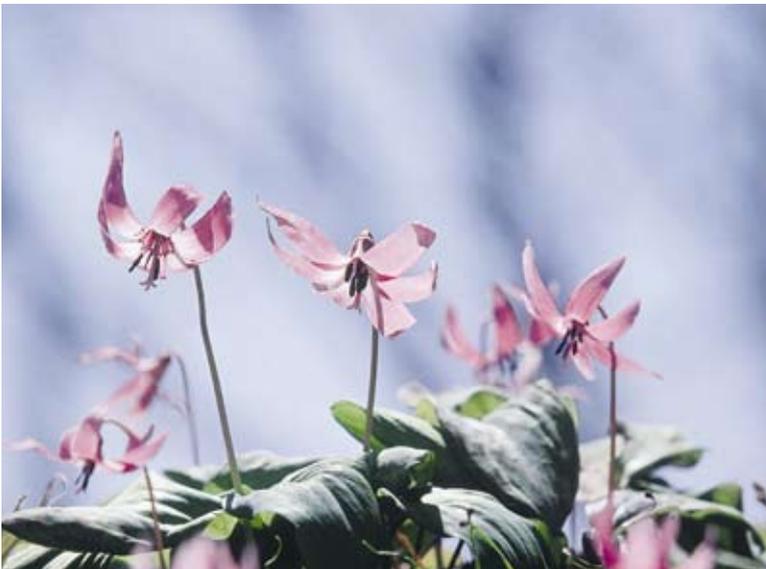
1年前の「天地人」の大河ドラマ決定は大変な喜びでした。国体の開催とともに南魚沼市を全国にPRする千載一遇のチャンスです。平成20年度予算では、前年度からの教育環境や子育て支援の整備・拡充と併せ「天地人」および国体の成功に向けた取組みを重点施策といたしました。また、職員削減とともに職員給与費や議員報酬の5%削減を引続きお願いし、人件費、内部経費の削減に努めたところです。

詳しい事業内容は次頁以下に述べますが、厳しい財政状況のなか可能な限り南魚沼市の発展、市民生活の向上に向けた予算編成を行いました。

四季折々の自然がくっきりと美しいこの地で、「自然・人・産業の和で築く安心のまち」を将来像として、「生涯を地域で完結できる市政」の実現に向けそれぞれの施策を着実に実行してまいります。

南魚沼市長

井口一郎



平成20年度の予算総額は

590億5,119万円

●平成20年度 各会計別予算

会 計		平成20年度	平成19年度	増 減 額	増減率%	
一 般 会 計		288億6,800万円	281億9,000万円	6億7,800万円	2.4	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	60億9,521万円	62億1,127万円	△1億1,606万円	△1.9	
	介護保険特別会計	45億7,336万円	45億5,842万円	1,494万円	0.3	
	老人保健特別会計	5億4,296万円	65億3,634万円	△59億9,338万円	△91.7	
	後期高齢者医療特別会計	5億2,644万円	—	5億2,644万円	新設	
	下水道特別会計	74億5,100万円	55億1,400万円	19億3,700万円	35.1	
	観光施設特別会計	—	6,397万円	△6,397万円	廃止	
	訪問看護特別会計	—	6,050万円	△6,050万円	廃止	
公 営 企 業 会 計	水道事業会計	収 益	26億 344万円	27億 277万円	△9,933万円	△3.7
		資 本	40億9,740万円	16億9,935万円	23億9,805万円	141.1
		計	67億 84万円	44億 212万円	22億9,872万円	52.2
	病院事業会計	収 益	40億5,426万円	39億7,526万円	7,900万円	2.0
		資 本	2億3,912万円	1億9,206万円	4,706万円	24.5
		計	42億9,338万円	41億6,732万円	1億2,606万円	3.0
合 計		590億5,119万円	597億 394万円	△6億5,275万円	△1.1	

※観光施設特別会計は指定管理者制度へ、訪問看護特別会計は病院事業会計へ移行したため、廃止となりました。

●長期借入金の状況

会 計	年度末残高見込			
	平成20年度	平成19年度	増減額	
一 般 会 計	364億3,655万円	388億2,360万円	△23億8,705万円	
下 水 道 特 別 会 計	337億7,054万円	334億9,113万円	2億7,941万円	
水 道 事 業 会 計	180億9,952万円	190億 532万円	△9億 581万円	
病 院 事 業 会 計	10億1,060万円	11億8,646万円	△1億7,586万円	
合 計	893億1,721万円	925億 651万円	△31億8,930万円	
参 考	土地開発公社の借入額	14億円	14億7,000万円	△7,000万円
	債務負担行為による支出見込額	22億4,164万円	24億5,508万円	△2億1,344万円

※債務負担行為とは、市が将来の負担を約束したもの（農道整備の借入金の償還に対する補助等）
長期借入金の残高は、着実に減少しています。

●基金の状況

会 計		年度末残高見込		
		平成20年度	平成19年度	増減額
一 般 会 計	財 政 調 整 基 金	9億1,497万円	12億5,897万円	△3億4,400万円
	減 債 基 金	952万円	952万円	—
	国 際 交 流 基 金	1億2,053万円	1億2,824万円	△771万円
	棚 村 基 金	1億 344万円	1億 564万円	△220万円
	医 師 修 学 基 金	1,145万円	1,145万円	—
	ふ る さ と 基 金	4億円	4億円	—
	合 併 振 興 基 金	8億8,010万円	22億2,410万円	△13億4,400万円
	計	24億4,001万円	41億3,792万円	△16億9,791万円
国民健康保険特別会計		3億6,296万円	5億1,246万円	△1億4,950万円
介護保険特別会計	貸 付	300万円	300万円	—
	給 付	2億3,683万円	2億1,040万円	2,643万円
下 水 道 特 別 会 計		1億 250万円	1億 250万円	—
水 道 事 業 会 計		2,900万円	2,900万円	—
病 院 事 業 会 計		2,290万円	2,290万円	—
合 計		31億9,720万円	50億1,818万円	△18億2,098万円

※財政調整基金から不足財源の穴埋めとして3億4,400万円を、合併振興基金から繰上償還に充てるための繰替運用として13億4,400億円を繰り入れます。

●財政健全化計画の達成見込の状況

健全化項目	5年間の 全体目標額	平成18年度 (実績)	平成19年度 (予算)	平成20年度 (予算)	3年間の合計	達成 見込率
人件費の抑制	30億8,500万円	3億9,600万円	5億8,500万円	6億9,500万円	16億7,600万円	54.3%
内部経費の削減	7億7,100万円	1億 400万円	1億5,200万円	1億9,000万円	4億4,600万円	57.8%
投資的経費の抑制	9億8,700万円	2億3,700万円	1億3,400万円	1億5,900万円	5億3,000万円	53.7%
行政水準の明確化	4億9,300万円	8,100万円	1億 300万円	1億3,200万円	3億1,600万円	64.1%
繰出金の見直し	11億5,000万円	2億 800万円	2億4,600万円	2億1,700万円	6億7,100万円	58.3%
公債費の削減	2億5,100万円	0	0	3,300万円	3,300万円	13.1%
歳入の確保	3億6,300万円	5,000万円	6,700万円	7,400万円	1億9,100万円	52.6%
合 計	71億円	10億7,600万円	12億8,700万円	15億円	38億6,300万円	54.4%

※平成19年度に財政健全化計画の見直しを行っています。

※達成見込率は、全体目標額に対する平成18～20年度の達成率を表しています。



主要施策

●教育環境の充実

- 学校耐震補強事業（浦佐小学校、大和中学校、塩沢中学校）
- 五十沢地区小学校統合事業 ○塩沢地区給食センター建設事業 ○教育特区事業

●子育て支援の拡充

- 妊婦健診の助成回数拡充 ○学童保育事業委託の拡充 ○保育園耐震診断
- 保育園冷房設備整備事業 ○ほのぼの広場の開催回数の増加 ○認定こども園への助成

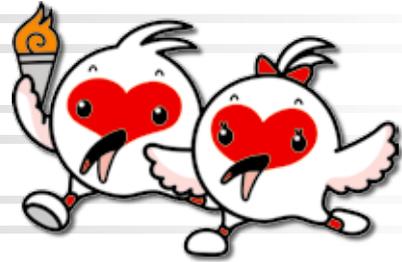
●コミュニティ活動の推進

●大河ドラマ「天地人」プロジェクトの推進

●2009年国体の準備

●財政健全化の推進

- 議員報酬・職員給与の5%削減 ○コンビニ収納の準備 ○行政財産の有効活用
- 経常経費の5%削減 ○公的資金の補償金免除繰上償還の実施



第1 保健・医療・福祉

■まちづくりの目標
 地域ぐるみでつくる健康・支えあふ福祉のまち

1 健康の増進と 予防医療の推進

○新規 胃がん検診車整備事業費

(6,030万円)

魚沼地域胃腸検診協議会における検診車の整備を行います。

○新規 後期高齢者保健事業費

(1,536万円)

後期高齢者医療広域連合から委託を受け、後期高齢者の健康診査を実施します。

○拡大 予防対策事業費

(9,169万円)

乳幼児のうちに免疫力をつけ、健やかに成長するための事業です。また、抵抗力の衰えた高齢者に対する罹患予防および重症防止の事業を実施します。なお、今年度からBCG接種を集団接種から個別接種に変更するとともに、中学1年生と高校3年生に相当する年齢の者を対象に、5年間麻疹風しん予防接種を実施します。

○基礎健診事業費

(1,717万円)

健康診査により健康づくりの認識を高め、生活習慣病予防および

○住民健診事業費

(6,829万円)

発病抑制に努めて健康寿命の延伸に取り組みます。各種がん検診事業による疾患の早期発見および重症化防止に取り組みます。

○国民健康保険対策費

(3億4,688万円)

国民健康保険特別会計繰出基準に基づき、職員給与費、保険税の軽減分の補てんおよび出産育児一時金の3分の2などの費用を繰出し、加入者に対する福祉および保健の向上に努めます。



2 地域完結型 保健医療体制の構築

○医療機器等整備事業費

〔病院会計〕(5,266万円)

大和病院および城内病院の医療機械を整備し、良質な医療環境を目指します。

○病院事業対策費

(2億8,678万円)

地域医療体制を維持するため市立病院の運営に対し繰出金を支出し、市民が安心して暮らせるまちづくりをします。

○休日救急診療所費

(3,740万円)

休日に病気・けがなどのあった場合、医師の診療が受けられるよう救急対応するための事業を行います。

○新規 保育園大規模改修事業

(250万円)

老朽化した四十日保育園を、平成21年度に大規模改修・耐震化工事をするため、耐震化診断と実施設計を委託します。

○拡大 学童保育対策事業費

(6,493万円)

南魚沼学童保育協議会を法人化した「NPO法人すまいるネットワーク南魚沼」へ市立10学童クラブの事業を委託します。また、私立の「金城クラブ」、「わかばクラブ」へも事業委託を行い、児童の健全育成と働く親の支援に積極的に取り組みます。

加え、児童数143人(4月現在)を保育するために委託をします。

○拡大 母子保健事業費

(2,723万円)

妊婦一般健康診査の回数を2回から5回に拡充するとともに、母子の健全な発育を支援するために健診・訪問などを行います。

○乳児・子ども・妊産婦医療費助成事業費

(1億2,561万円)

こどもおよび妊産婦の医療費について経済的負担の軽減を図るため、その一部を助成し、子育ての支援をします。妊産婦の医療費については自己負担分(保険適用分のみ)全額を助成し無料化しています。

い者の入院費用についてその費用の一部を助成します。授産施設で訓練する障がい者へ費用を補助し支援します。

○心身障害者医療費等助成事業費

(1億1,101万円)

重度心身障がい者の医療費の一部を助成します。

○特別障害者手当等給付事業

(8,340万円)

重度心身障がい者で在宅の方に、手当を支給します。

○自立支援事業

(5億6,258万円)

障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス(在宅、通所、入所、補装具など)に対し給付を行います。また、これまでの更生医療、育成医療および精神通院医療が自立支援医療として一本化され、これらにも医療給付を行います。

3 子育て支援の充実

○新規 保育園冷房設備整備事業

(1,600万円)

園児の昼寝の場所について、未整備となっていた保育園16園に冷房設備を設置し、平準化を図るとともに、猛暑時の健康管理と事故防止に努めます。



○拡大 私立保育園委託事業費

(2億4,779万円)

私立「野の百合保育園」、「わかば保育園」に、平成20年度から新たに設置される「金城保育園」を



4 障害者福祉の充実

○拡大 地域生活支援事業

(7,152万円)

相談・支援事業を行う地域活動支援センターの費用、日常生活用具、日中一時支援、移動支援、小出養護学校通学バスの助成などを行います。

○心身障害者助成事業費

(3,314万円)

移動困難な障がい者に、タクシー利用券などの支給と精神障が



5 高齢者福祉の充実

○新規 後期高齢者医療対策費

(6億9,924万円)

後期高齢者医療特別会計に、職員給与費、事務費および保険料の軽減分の補てんの費用を繰出します。後期高齢者医療広域連合に療養給付費の12分の1と広域連合事務共通経費を負担します。

○新規 魚沼荘大規模修繕事業費

(1,050万円)

アスベスト封じ込めなどの工事および厨房設備改修工事を行います。



○敬老会事業費 (1,583万円)

長寿祝いとして米寿(88歳)に祝い状(額付)、100歳の長寿者には2万円の祝い金、祝い状(額付)を贈呈します。また、各地区敬老会事業に対し、77歳以上の参加者1人2,300円、欠席者1人1,000円を助成します。

○生活支援事業費

(4,710万円)

要介護高齢者家族手当(要介護4以上で一定期間以上在宅で介護の場合3万円支給)、一人暮らし等高齢者への緊急通報装置設置250人分、低所得高齢者の寝具洗濯乾燥サービス80人分、市社協へ委託しての心配ごと相談事業3地域分、高齢者等要援護住宅除雪援助委託料200世帯分、在宅高齢者紙おむつ給付360人分の事業費を計上し、在宅高齢者への生活支援として事業を行います。

○介護保険対策費

(6億8,459万円)

介護保険制度は、65歳以上の被保険者が負担する保険料、40歳〜64歳の方が負担する保険料のほか、国・県・市が一定の率に応じて負担する財源によって賄われています。

この制度運営のため、特別会計へ介護サービス給付費の12・5%のほか、人件費を含む事務費など

を負担しながら、適正な執行と制度の充実に努めていきます。特別

養護老人ホーム、社会福祉協議会などの社会福祉法人が提供する介護保険サービスを利用する低所得者の経費負担を軽減するため、県の介護保険事業費補助金(補助率4分の3)の交付を受けて実施します。

6 地域福祉の推進

○新規 旧福祉センター大規模改修事業費

(1億6,119万円)

補強工事を実施して現在利用休止している施設の再利用を図ります。

○社会福祉協議会推進事業費

(4,567万円)

社会福祉法第109条で、市の地域福祉の推進を図るために設立されている社会福祉協議会の人件費などを補助します。



○民生児童委員事業費

(1,425万円)

厚生労働大臣が委嘱し、地域住民の相談・支援や福祉行政への協力を職務とする民生委員児童委員の活動費を支給します。

○住宅貸付制度事業費

(900万円)

高齢者・障がい者のための住宅整備・改修費に対する融資を実施します。

○生活保護施設費

(1,877万円)

生活保護法に基づく救護施設の運営経費を負担します。

○扶助費 (1億5,000万円)

困窮のため最低限度の生活を維持することのできない人の生活を保障するための各種扶助を行います。

第2 教育・文化

■まちづくりの目標
学び喜び・文化をはぐくむ喜びのあるまち

1 学校教育の充実

○新規 教育特区事業

(1,562万円)

小学校(5校)の総合、生活科の授業の振替えにより「国際科」を新設、国際大学留学生等による国際理解教育およびALTによる英語教育を実施します。



○新規 国際交流および文化・スポーツ基金事業

(771万円)

インターナショナル・ビレッジ構想として国際大学留学生等を講師に招き、各種講演会・授業を実施します。また、中学生の海外ホームステイを実施し、体験活動を通じて国際交流を図ります。

○新規 五十沢地区小学校統合整備事業費

(2,848万円)

老朽化した五十沢小学校と西五十沢小学校を統合し、五十沢中学校に合築して整備するための設計を委託します。



○新規 塩沢地区給食センター建設事業

(1,500万円)

塩沢小・中学校給食棟の老朽化に伴い、市学校給食センター運営委員会の答申を得て建設する給食センターの設計を委託します。

○校舎耐震補強事業

(1億8,363万円)

学校建築年数の経過および老朽化に伴い、浦佐小学校、塩沢中学校校舎の耐震補強工事と、大和中学校の耐震二次診断を実施します。

2 生涯学習の充実

○さわらび大規模改修事業費

(3,500万円)

照明操作卓等舞台照明機器の交換、改修および空調設備(2台)の改修を行います。

○市民会館大規模改修事業費

(7,200万円)

大ホール舞台装置の交換および修繕を行います。

○文化施設運営委託事業費

(7,846万円)

南魚沼市文化スポーツ振興公社への管理運営委託を行い、協働して文化振興に取り組みます。

○図書館管理運営費

(1,347万円)

「暮らしに役立つ図書館」「地域課題に対応する図書館」を目指すとともに市民に親しまれる図書館活動を推進します。



3 地域・家庭教育の充実

○青少年育成センター運営費

(148万円)

妊産婦・乳幼児の保護者に対して、親子関係作り・仲間作りの支援をします。関係機関と連携して青少年の健全育成や非行防止に努めます。



4 地域文化の振興

○坂戸城跡整備事業(278万円)

御館の石垣およびその周辺の試掘調査を行います。

○南魚沼市郷土史編さん事業費

(619万円)

六日町町史資料編3巻の内、第2巻「近世、近現代」の発刊準備作業と、六日町町史、未発刊分の大和町史の編さんのため、資料の調査、収集整理および保存作業を進めます。

○重要無形民俗文化財指定取組事業費

(396万円)

「浦佐毘沙門堂の裸押し合いの習俗」記録保存の選択を受け、今年度は調査報告書を作成します。

○文化振興補助事業(691万円)
トミオカホワイト美術館および
その他文化芸能団体の活動を支援
するために事業費を補助します。

5 生涯スポーツの推進

○新規 スポーツコミュニティ
センター施設整備事業費
(1,500万円)

「ディスプレイ南魚沼」は、築
20年を迎え今後も利用者に対して
快適なサービスを提供するために
改修工事を行います。

○スポーツ推進事業費
(729万円)

総合型地域スポーツクラブ「南
魚スポーツパラダイス」の運営を
補助し、市民の健康づくりおよび
生涯スポーツの推進をします。

○体育施設管理委託事業費
(6,579万円)

市内のスポーツ施設について、
指定管理者制度を活用しながら管
理運営し、市民の健康増進、青少
年の健全育成に努めます。



○国体推進費 (6,909万円)
トキめき新潟国体の競技別リ
ハーサル大会を開催し、大会運営
の習熟を図るとともに、さらに組
織の改善や施設の整備を進め、国
体の開催準備に万全を期します。



6 共感と共生の まちづくり

○男女共同参画推進費 (31万円)

男女共同参画推進市民会議を中
心として、市民に対する啓蒙・啓
発活動を着実に推進していきま
す。

第3

環境共生

■まちづくりの目標
豊かな自然とともに生き、100年後の子どもたち
に引き継いでいくまち

1 循環型社会の創造

○新規 循環型社会形成推進事業

(1,100万円)
スラグ用ストックヤード建設お
よび旧ごみ処理施設解体工事の基
本計画、実施設計の作成をします。

○ごみ減量化推進事業

(414万円)
資源ごみなどの団体回収または
生ごみ処理機の購入に補助を行
い、ごみの減量化を推進します。

2 生活環境の向上

○ごみ処理費

(2億8,319万円)
良好な生活環境の確保のため、
不法投棄ごみ処理、ごみ収集の委
託、大和地域ごみ処理委託、市公
共施設ごみ収集業務の委託を行
います。

○し尿等処理施設費

(1億4,247万円)
年間を通じて安定的・効率的な
処理が行えるよう施設の適正な管

理などを行います。

○し尿処理施設大規模改修事業費
(1億2,416万円)

施設老朽化に伴い今後10年程度
の延命化を図るために、施設の大
規模改修工事を平成19・20年度の
2年間の継続事業で行います。

○可燃ごみ処理施設費

(5億4,005万円)
可燃ごみ処理施設は、安全で適
正な運転管理を行い、環境負荷を
低減しています。

○不燃ごみ処理施設費

(9,894万円)
年間を通じて安定的なごみ処理
ができるよう、適正な管理運営に
努めます。

○克雪住宅推進事業

(1,537万円)
屋根雪処理に伴う過重な作業や
危険の軽減と、冬の住環境の
改善を図るとともに、消雪用地下
水の過剰な汲み上げを節減するこ
とによって地盤沈下の抑制を目的
に、住宅の克雪化(融雪式または
耐雪式)に対し、その費用の一部
を補助します。

第4 都市基盤

■まちづくりの目標
安全・快適でつるおいのある生活ができるまち

1 計画的な土地利用の推進

- 国土調査事業(3,955万円)
平成20年度は、五日町地区1.2平方キロメートルの一筆地調査を実施します。また、五日町地区0.63平方キロメートルの認証・登記まで実施します。
- 都市計画基礎調査事業(100万円)
魚沼基幹病院とその周辺部の用途地域の都市計画決定をするために調査します。

- まちなみ空間創出整備支援事業(2,695万円)
塩沢地内で着手している県営街



2 交通体系の整備

- 齋場改築事業(9,400万円)
基本計画に基づき齋場の実施計画の策定、擁壁工事を含めた土地造成などを実施します。
- 道路新設改良事業(5億9,154万円)
市内各路線の整備を行います。
- まちづくり交付金(塩沢地区)事業(3,090万円)
地域の歴史・文化・自然環境などの特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくりを実施し、都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ります。

- 大和IC整備事業(1億9,142万円)

スマートインターチェンジの大型車乗り入れ、24時間利用に向け、高速道路への取付市道整備を行います。



- 浦佐駅エレベーター整備事業(1,170万円)

浦佐駅にJR東日本が事業主体となり、3か年計画の2年目として、新幹線ホーム下り線にエレベーターを設置します。

3 ひとにやさしいまちづくり

- 道路環境整備事業(1億2,680万円)

浦佐黒土新田線、天王町8号線、島泉盛寺線について、道路環境整備事業(補助事業)で整備を行います。

- スノーピア合併事業(1億5,005万円)

市街地の除排雪と地下水汲み上げ節減に効果的な流雪溝の取水・送水施設整備事業です。

本年度は中継ポンプ場機械・電気設備と送水管を施工します。

- 流雪溝整備事業(3,348万円)

送水管布設(スノーピア事業)の完了した区域に流雪溝を新設する事業です。本年度は、駅裏小栗山線を施工します。

- 除雪機械整備事業(3,400万円)

市道の効率的な除雪の実施に向け、1台の除雪機を更新します。

4 住環境の整備

- 木造住宅耐震診断事業(992万円)

今後、発生が予想される地震による倒壊を防ぎ、市民の生命と財産を守るとともに、安心して暮らせる住環境の形成を図るため、昭和56年5月31日以前に建築確認を得て建築された木造住宅に対して耐震化を促進させるため、耐震診断に要する費用の一部を補助します。

5 上下水道の整備

○流域関連公共下水道事業
「下水道特別会計」
(2億470万円)

小栗山、六日町駅西および石打地区の面整備を進めます。

六日町東裏排水区における浸水対策として雨水貯留槽を設置します。

○特定環境保全公共下水道事業
「下水道特別会計」
(17億4,740万円)

大和地域（八岡、城山新田、荒山および大倉地区）六日町地域（西泉田および奥地区）および塩沢地域（天野沢、長崎、竹俣、竹俣新田および大沢地区）の面整備を進めます。



○大和クリーンセンター水処理施設増設工事「下水道特別会計」
(3億2,980万円)

土木・建築工事に着手します。

○下水道事業対策
(16億8,830万円)

下水道特別会計に対して起債元利償還金および市町村整備浄化槽維持管理費などを繰出します。

○上水道事業対策
(7億3,330万円)

資本費が高額となり、高水準の料金を設定せざるを得ない状況であり、料金格差の縮小を図るために、資本費の一部に充当するため繰出します。

6 防災施設の整備

○河川管理費 (2,184万円)

県から委託を受け、一級河川の除草および準用河川等の維持管理を行います。



第5 産業振興

■まちづくりの目標………
豊かな自然を活かし、自然にやさしく力強い産業のまち

1 農業の振興

○県営事業負担金 (5,140万円)

農業生産基盤などの整備を県営事業として実施します。

○土地改良事業費 (2億8,576万円)

土地改良区で実施した農道などの整備に係る償還金の補助を行います。

○水田農業構造改革推進事業 (3,532万円)

安全・安心な良質米の生産に努め、的確な需要調整に取り組み南魚沼産コシヒカリの需要拡大と競争力の強化を図ります。

○中山間地域等直接支払事業 (7,894万円)

中山間地における農業の持つ多面的機能の維持、増進を図るため自律的、かつ継続的な農業生産活動を行う44集落に支援を行います。(大和8、六日町11、塩沢25)

○農地・水・環境保全向上対策事業 (1,993万円)

農地・水・環境保全向上対策事業に取り組みます。共同活動支援として38組織、先進的営農支援・営農基礎活動支援を10組織、それぞれ支援します。

○家畜指導診療所費 (1,357万円)

地域畜産農家の経営安定のため各種業務を効果的かつ効率的に実施します。



2 林業の振興

○新規 バイオマス活用事業費 (468万円)

地球温暖化の防止、循環型社会の形成、農山村の活性化に向けて、地域バイオマス資源の総合的活用システムを構築するためにバイオマスタウン構想を策定します。

○新規 安全・快適な林道再生事業 (260万円)

広域的な林道を中心に崩壊箇所等を修復する林道再生事業を実施します。

○林道大崎水尾線開設事業 (2,466万円)

大崎・水尾線林道を継続事業として開設工事を進めます。

○分収造林事業 (3,218万円)

市内各所において植栽などを実施します。

3 観光の振興

○新規 観光交流拠点駐車場整備事業 (5,726万円)

天人博(仮称)開催予定地の駐車場用地買収および舗装工事を行います。

○新規 大河ドラマ「天地人」プロジェクト推進費 (1億4,855万円)

2009年NHK大河ドラマ「天地人」の放送により、南魚沼市を全国にPRするとともに主人公直江兼統公の生誕地である当市への来訪者に対する受け入れ態勢の整備を図ります。



○新規 八海山麓観光施設管理運営費 (4,002万円)

八海山麓スキー場、サイクリングターミナルおよび勤労者体育館を八海山麓観光施設として、指定

管理者に管理委託するに伴い管理委託料や下水道の接続、ボイラーなどの修繕工事を行います。

○新規 今泉博物館道の駅整備事業 (50万円)

道の駅として整備するために必要な事項について調査します。

○観光振興事業 (6,443万円)

観光PRの委託やイベントなどを支援し、誘客を図ります。



4 商工業の振興

○商工業振興補助事業 (1,130万円)

商工会の経営指導員の設置および指導事業・地域振興事業への補助、地域活性化事業への補助を実施します。

○中小企業金融制度事業 (5億401万円)

制度資金の預託、信用保証料補給など、中小企業経営支援事業を行います。

○地場産業振興事業 (283万円)

駅前商店街アーケード整備の償還金の補助などを行います。

○企業対策事業 (123万円)

企業立地奨励金として、地元雇用促進のため、立地企業に助成します。

5 雇用の促進

○雇用対策事業 (918万円)

南魚沼職業能力開発運営協会負担金として、2人分の人件費を負担します。また、自主的出店者への家賃の補助を行います。

○労働者福祉対策事業 (4,060万円)

県労働金庫および県労働者信用基金協会へ労働者福祉増進のため、預託などを行います。



第6 行財政改革・市民参画

■まちづくりの目標
市民と築くあかるい自治のまち

1 行財政運営の効率化

○庁舎整備事業

(1億3,850万円)

本庁舎の耐震補強、空調機器の改修、電算室の改修工事の実施および駐車場の拡張の実施を行い、本庁舎方式を見据えた改修を進めます。

○集落振興事業 (1,305万円)

(財)自治総合センターのコミュニティ事業補助金として、5つの行政区に対して、防犯灯設置事業や子ども神輿購入事業などを支援します。

○行政区事業費 (6,482万円)

各行政区の活動に対して交付金で支援します。

2 市民主体のまちづくり

○新規 地域コミュニティ活性化事業 (2,370万円)

平成19年度の3地区におけるパイロット事業を受け、平成20年度は、市内12地区に対して地域コミュニティ活性化事業を実施し、地区全体の自治活動の活性化を図り、地域と行政がともに対等な立場で行政運営に当る「市民と行政の協働」を目指します。

○市民憲章推進事業 (13万円)

市内の小中学校の子どもたちを対象に、市民憲章キャラバンとして啓発活動を実施します。

3 災害に強い安全と安心のまちづくり

○新規 消防庁舎改築事業費 (500万円)

消防庁舎の耐震工事の実施設計を行います。

○新規 防災広場整備事業 (8,709万円)

六日町市街地の避難場所を確保するとともに、市役所の防災機能を充実させるため、本庁舎脇に防災広場を整備します。



○消防団施設整備事業 (2,480万円)

消防団配備の小型ポンプ付積載車4台および小型ポンプ4台を更新します。



○消防車両整備事業費 (3,377万円)

本署の救急自動車を高規格救急自動車に更新します。

湯沢署の指令車を更新します。

○消防水利整備事業 (2,600万円)

国庫補助を受け、40トン耐震性貯水槽を4基建設します。

4 高度情報化の推進

○新規 辺地共聴施設整備事業 (454万円)

平成23年7月に、現在の地上アナログ放送は終了し、地上デジタル放送に移行します。そのため、共同アンテナを有する組合に対して、国、市で補助金を交付して、デジタル化改修工事を実施します。

○賦課徴収システム管理費 (1,961万円)

コンビニ収納システム導入のための電算システム準備作業および税金の収納が正確かつ効率よく行われるための電算システムを維持管理します。

○GIS整備事業 (1,700万円)

平成17年度から平成21年までの5年間で整備を行います。大縮尺地形図の整備、業務ごとの地図(レイヤー)作成を行い、利活用を図ります。

5 交流の推進

○交流事業費 (164万円)

国内友好都市とさまざまなイベント等で相互訪問などを実施し、さらに関係の強化を図ります。